

## 【公民館等施設で行っている自主事業の見直しについて】

### 1. 自主グループ化の促進、呼びかけ

本来、公民館の自主講座は学習・交流などのきっかけづくりが主な目的である。長く継続している講座は自主講座としての役割をある程度果たしたことになる。そのため施設によっては、長く継続している講座に対して自主グループに移行するよう促しているところもあり、今後もできるだけ自主グループ化する講座を増やしていきたい。

また、高齢者学級などではサークル化しており各部会で活動をしているところも見受けられる。それによって回数が増え講師料も高額になってしまっている。サークル化しているものは自主グループに移行するよう働きかけていきたい。

### 2. 講座に関する基準の設定、学習の質の確保

講座の内容については各施設にまかせているが、受講生の固定化もあり内容についてもマンネリ化しているところもある。また、人気や表面的なニーズを考慮して講座を企画するとどうしても趣味・教養の分野が多くなってしまいうなど、学習の質の確保に苦慮している。

そこで、地域課題に関するもの、多様な団体と連携・協力するもの、社会の要請に応えるものなどを課から基準として提示し、その基準を満たせるようにいくつかの講座を企画・運営していきたい。

### 3. 出前講座等の活用

ふれあいしまだ塾は、内容も多様で講師料も無料のため、今後も活用していただきたい。学習内容とマッチするものがあれば積極的に利用をお願いしたい。

また、知るぽると（金融広報委員会）や中部電力など無料で講師派遣を行っている団体・企業などもあるため、必要に応じて活用していただきたい。

---

これらによってコスト削減・事業の充実化を図り、施設の修繕・改修対策に当てていきたいと考えています。

ついては、予算要求に関してもこれらを考慮した内容を作成していただきますようお願いいたします。ご不明な点などありましたらご意見をいただければ幸いです。